

国際交流サロン

8月は「アイスクリームの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	アイスクリーム
発祥地	古代中国北部と古代アラブ。中国では動物の乳が自然に凍ったものを、アラブでは氷や雪に「乳と蜜」を加えたものを食していました。
いつごろ	中国では紀元前1000年頃。マルコポーロの「東方見聞録」に氷菓の記述があります。アラブでは紀元前300年頃。「千夜一夜物語」に出てくる「シャルバード(冷たい飲み物)」が「シャーベット」の語源と考えられています。
誰がはじめたか	中国は周の時代、武王と諸侯の王は、冷たい食品は体内をきれいにすると好んで食したそうです。アレキサンダー大王は、山(中東で唯一積雪があるレバノン山脈)から、氷雪を運ばせ糖を加えたものを戦士に栄養補給の目的で与えていました。大王自身はミルクや蜂蜜、果汁やワインなどを氷雪に加えて、嗜好品として食したそうです。



協会ロゴが入ったオレンジのユニホームができました

9月の国際交流情報

9月7日(土)

外国人のための生活ガイド養成講座

講座：午前11時～正午

ガイドブック配布：午後1時～2時

(医療機関)

会場：友部公民館、市内医療機関(事前に連絡を受けた機関)

☆9月の日本語教室の開講日

9月7日(土)・14日(土)・21日(土)

(友部公民館 午前10時～)

外国人のための生活ガイドブック(8か国語)を配布します

笠間市で生活する外国人の方が、日常で必要となる各種情報を8か国語で説明した生活ガイドブックを配布します。ご希望の方は、毎週土曜日に開講している日本語教室で配布していますので、前日までに必要な言語を協会に連絡してください。なお、外国人を雇用している企業や各医療機関に配付する予定です。

作成言語：
英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

市長コラム



▲ 旧畜産試験場

畜産試験場跡地
県有地である畜産試験場跡地は、明治35年に緑岡村(現在の水戸市見川町)に開設された「茨城県種畜場」が大正5年に旧友部町に移転し、平成12年に旧八郷町に移転されるまでの85年間、県内畜産業の研究や開発の拠点となっていました。面積は約35ヘクタールの平坦な土地であり、地下水が豊富で、何より友部ICから約5分、友部スマートICからも約10分と交通の利便性がよい中心市街地にあります。しかし、排水設備が未整備であったため、畜産試験場移転後の利活用において大きな課題と

なり、合併前の旧友部町時代からこの土地の利活用について、茨城県と数多くの話し合いが行われてきました。そしてこの度、課題であった「雨水排水処理施設整備」が、平成25・26年の2年間をかけ、茨城県の市町村合併支援事業を導入し、約9億円をかけて整備を進めてまいります。

さらに市としては、整備終了後の利活用を図るために、地域振興、雇用、税収の確保につながる企業等の誘致を茨城県と一体で進めています。企業誘致にあたっては各業種の方々に、畜産試験場跡地の利点や市が取り組む優遇策等をPRしていきます。医学部誘致の話もあります。早期の利活用に向けて実現できる事を優先してまいります。市にとっては、市民の皆さんからの企業情報の提供が重要であります。是非ご一報をお待ちしています！

笠間市長
山口伸樹